

## 【夏休みまで】



夏休みまで、あと少し。

気もそぞろになりかけた子どもたちや、自分のために、何か楽しいことはないかなあと思い、いつものようのお面を作り、朝の旗振りで被ることにしました(6年生には「どうしたあ?」と突っ込みをいただきながら)。

そこで、反省をしたことが1つ。

それは、ついつい無意識のうちに、楽しい夏休みばかりを主役にしてしまい、夏休みまでのカウントダウンとしてしまったこと。

子どもたちの中には、(少数派かもしれません)お休みになってしまい、つまらないと思っている子どももいるのです。それに気づかされたのはAさんとの会話でした。

Aさんは、わたくしの被るお面を見て「あと、5日しかないだね。私、学校のがいいのに」と、つぶやいたのでした。

これを聞いてハッとさせられました。学校にかかるはしきれの一人として、私の捉えは間違っていました(\*\_\*)

心改めた私は、次の日から、「残念ですが、学校はあと〇日しかありません。がんばりましょう」となったのでした。

そして、そんな言葉に「私もがんばるよ」と応えてくれる子どもたちもいて、朝から幸せな気持ちにもらっている私がありました。いつもながら、子どもたちは偉大です。

ランドセルを背負うのが億劫なBさん。帰りの時間なのに、なかなか腰があがりません。

それでは、校長先生とじゃんけんをしようと、誘いました。  
校長先生が勝ったらBさんが自分で持っていきます。校長先生が負けたら校長先生が玄関まで持って行きます。

渾身のじゃんけん一発勝負。

結果は…見事に私が負けました。

するとBさんが冷静に「力が入ると人はグーを出しやすいんだって。だから、私はパーをだしたの」だそうです。完全にしてやられました。



上にも書きましたが、ついつい学校は子どもたちにとってマイナスなところ、という考えが知らず知らずに私の心にもはびこっていました。

まあ、よくよく思い返してみると、私も小さい頃は、夏休みのはじめはうきうきしていました。早く休みにならないかなあって思っていました。しかし、1週間くらい経つと暇で暇で「早く学校始まらないかなあ」と思っている子どもがありました。

1学期も残すところ今日を抜かしてあと3日。子どもたちにとって、「早く学校にならないかなあ」って少しでも思ってもらえる学校にするために。まずは私があの頃の気持ちを取り戻さねば。

(しかし、しばしの休息は子どもも大人も大事です。夏休みは夏休みにしかできないことを存分やってくださいませ)最後になりましたが、1学期ありがとうございました。2学期もよろしくお願い致します。



←久しぶりに花をいただきました。久しぶりで嬉しくて、校長室にしばらく飾っておきました。